

VOICE

[ヴォイス]

Vol. **33**
2022-2023 WINTER
December, January, February, March

VOICE
特集

個人に合わせたケアプランを作成し
不安のない介護と生活をサポート

きつこう会ヘルスケアシステム 居宅介護支援事業所

2022年7月治療スタート!脳血管内治療科

From 高精度放射線治療センター

連携クリニック/医療法人田辺耳鼻咽喉科医院

医療法人亮友会 なかむら皮フ科

多根記念眼科病院

多根クリニック

亀望会

居宅介護支援事業所より

HAPPY RECIPE/鮭のクリームパスタ



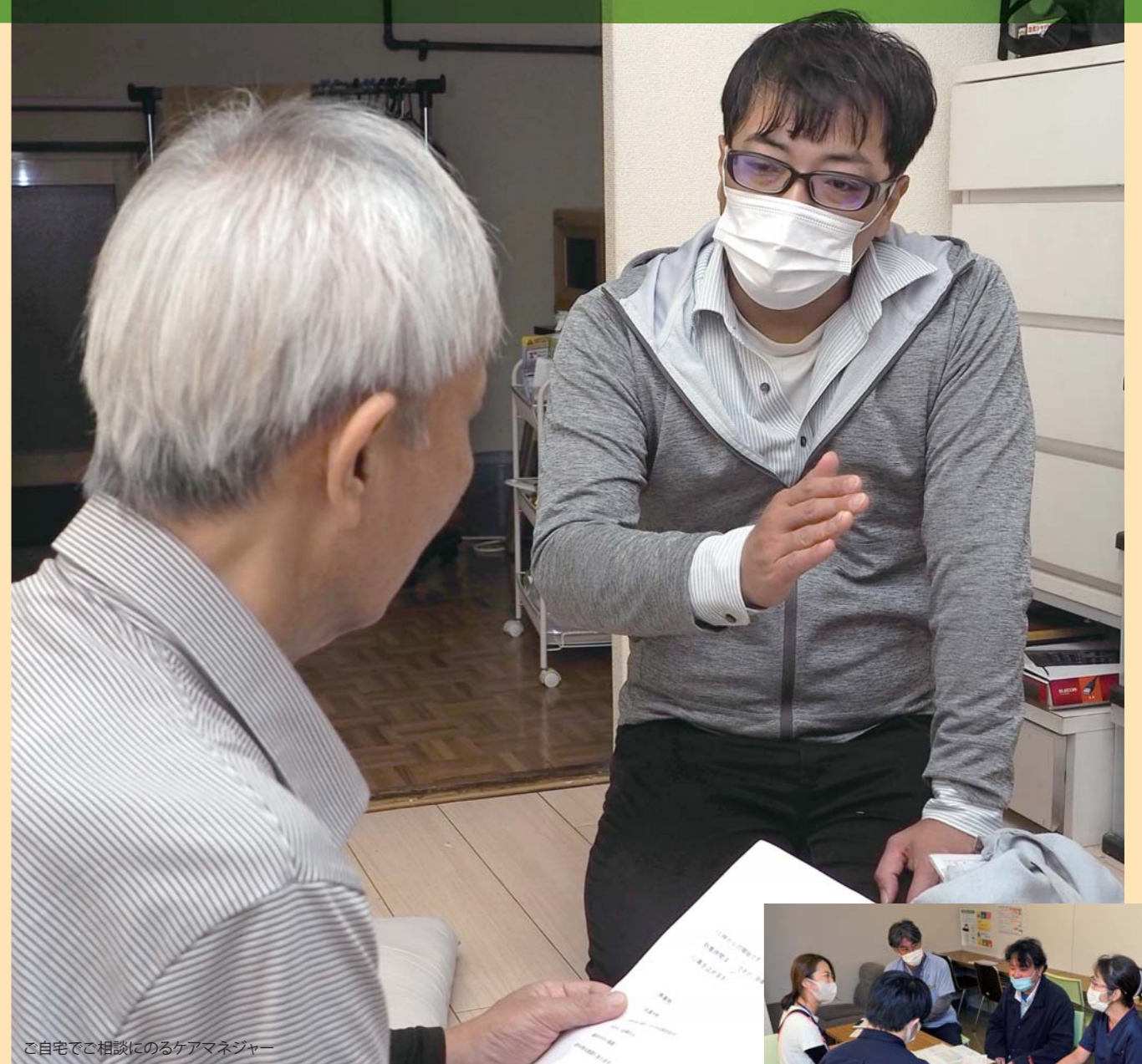


自宅で療養することになった。
さて、どうしよう!?

きつこう会ヘルスケアシステム 居宅介護支援事業所

個人に合わせたケアプランを作成し 不安のない介護と生活をサポート

病院から退院し自宅で療養するために介護サービスが必要かもしれない。でも初めての状況に直面してどうすればいいか、何から始めればいいのか、多くの人は戸惑うのではないのでしょうか。そんなときにまず相談するのが、居宅介護支援事業所のケアマネジャーです。今号では、居宅介護支援事業所とは何か、ケアマネジャーが何をしてくれるのかを、多根総合病院居宅介護支援事業所 日當福太郎所長にお話をうかがいました。



ご自宅で相談にのるケアマネジャー



担当者別にお一人おひとりの状況を確認し合う会議の様子

お問い合わせ先 多根総合病院 居宅介護支援事業所 Tel. 06-6536-8803

居宅介護支援事業所って？

介護サービスの入り口

ケアマネジャーは基本的に要支援1以上の方と関わり、ご自宅で介護サービスを受けながら療養できる環境づくりに携わるのが仕事です。しかし退院されたばかりだとご自身が要介護のどの度合いなのか、そもそも分からない方がほとんどだと思います。そのため実質的には要介護認定を受けておられない方も、まずはケアマネジャーにご相談いただくことになりま

居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー事務所)の選び方

居宅介護支援事業所はたくさんあり、どこもありません。その場合は予測した介護度をもとに暫定的なケアプランを作成し、介護サービスを開始することもできます(ただしあくまでも見込みですので、想定よりも介護度が軽度だった場合に自費が発生することがあります)。

居宅介護支援事業所はたくさんあり、どこもありません。その理由は、ご自宅がある地域の事業所です。その理由ですが、ケアマネジャーは

自身の事務所がある地域のサービス事業所についての情報に精通していたり、地域包括支援センターや役所などとの交流もあり、より利用者さんに合ったサービスを提供できるからです。逆にいえば遠方であれば情報は減り、利用者さんとサービスのマッチングに不利益が生じる可能性があります。

目安としてご自身のお住まいの区か隣接区であれば、西区、港区、大正区となります。

介護認定の判断基準(目安)

	要介護認定等 基準時間	身体の状態(例)
要支援	1 25分以上 32分未満	要介護状態とは認められないが、社会的支援を必要とする状態
	2 32分以上 50分未満	生活の一部について部分的に介護を必要とする状態
要介護	1 50分以上 70分未満	軽度の介護を必要とする状態
	2 70分以上 90分未満	中等度の介護を必要とする状態
	3 90分以上 110分未満	重度の介護を必要とする状態
	4 110分以上	最重度の介護を必要とする状態

介護に関する不安を解消し
各種サービスを
暮らしを支えます



多根総合病院居宅介護支援事業所
所長 日當 福太郎
Fukutaro Nitto

居宅サービスなどの限度額

区分	1か月あたりの利用限度単位数	1か月あたりの利用限度額 (1単位11.12円で計算した場合)	利用者負担額 1割負担の場合
事業対象者	5,032単位	56,000円程度	5,600円程度
要支援1	5,032単位	56,000円程度	5,600円程度
要支援2	10,531単位	117,200円程度	11,720円程度
要介護1	16,765単位	186,500円程度	18,650円程度
要介護2	19,705単位	219,200円程度	21,920円程度
要介護3	27,048単位	300,800円程度	30,080円程度
要介護4	30,938単位	344,100円程度	34,410円程度
要介護5	36,217単位	402,800円程度	40,280円程度

※1単位の単価はサービスにより異なります。 大阪市介護保険パンフレットより引用

軽度
↑
↓
重度

多根総合病院居宅介護支援事業所について

KHS(きつこう会ヘルスケアシステム)居宅介護支援は、社会医療法人きつこう会を经营主体とする「多根総合病院居宅介護支援事業所」のほか、社会福祉法人亀皇会を经营主体とする「江之子島コスモス苑居宅介護支援事業所」「てんぼ一ざん居宅介護支援事業所」の3事業所で行っています。グループで連携し、ケアマネジャーがケアプランの作成を中心に、介護と福祉サービスの相談支援を行っています。

多根総合病院居宅介護支援事業所

大阪市西区九条南1丁目12番21号 多根総合病院4階
TEL.06-6536-8803

江之子島コスモス苑居宅介護支援事業所

大阪市西区江之子島1丁目8番44号 TEL.06-6225-2662

てんぼ一ざん居宅介護支援事業所

大阪市港区築港3丁目4番25号 TEL.06-6599-1616

<https://careplan.tane.or.jp/taneyotaku.html>



きな不安をお持ちです。私たちはそのような方に、介護保険サービス、介護保険外のサービス、民間サービスなどを組み合わせてプランを提案することで少しでも安心して家に帰っていただけるように取り組んでいます。そのようなことが認められ、最近では地域の方や他の急性期病院などからもご依頼いただけるようになりました。

元気な時は、介護は身近な問題ではないと思います。ただ病気などで急に必要になり、どうしてもいいか分からない、イメージもわかないということになるかと思えます。そのような時は、相談だけでもいいので当グループのケアマネジャーまでご連絡ください。

教えて!

日當さん Q&A

Q 居宅介護支援事業所を選ぶポイントって?

A 基本はお住まいの区、もしくは隣接区でご検討されるのがよいと考えます。自身で選定が難しい場合は最寄りの地域包括支援センターにご相談してみてください。

Q 相談するのに料金はかかりますか?

A 相談は無料です。またサービス開始後もケアマネジャーに対する費用はかかりません。

Q 居宅介護支援事業所と契約しなくても介護保険サービスは受けられるの?

A 結論からいうと受けることは可能です。その場合は自己作成したプランをお住まいの区役所に毎月提出する必要があります。ただ利用料金を計算したりするので、よほど介護保険の知識があり、さらに福祉用具以外のサービスを利用される場合は、エクセルなどの計算ソフトの操作ができないと難しいでしょう。介護保険のサービスを使つての住宅改修や福祉用具の購入だけであれば、プランが必要のない場合もあります。

Q ケアマネジャーは途中で替えても大丈夫なの?

A 大丈夫です。ただ注意点があります。ケアマネジャーは月単位での担当制になります。ひと月の間に2人のケアマネジャーが担当することはできません。また最近ではケアマネジャーの人材も不足していることもあり、ケアマネジャーを変更したい場合は後任のケアマネジャーを決めてからにしましょう。

介護サービスについて

介護サービスといっても様々な種類があります。その中から利用者さんに合ったサービスを選ぶことが大切ですが、何を基準に「合う」を選ぶのか。そこにはご本人の希望だけでなく、介護に関わるご家族も含めた生活のスタイル、状況も加味しなければならず、ケアマネジャーはそれらを総合して判断するという役割も担っています。

サービス導入後のケアマネジャーの役割

介護サービスの利用が始まってからも、月1回を目安にケアマネジャーがお宅に訪問し、現在利用しているサービスに満足しているか、ケアプランの目標が達成されているか、希望通りのサービスが受けられているかなどを確認していきます。月1回に限っているわけではなく、各種サービス事業者との顔合わせや契約の際に顔を出したり、特に最初の頃は月に数回訪問しサービスがうまく回っているかを確認するようにしています。また、状態は変化していきますので、サービス内容が現状にマッチしているかどうか見ても変わってればプランを変更していきます。

ご家族への支援

私たちが在宅のケアマネジャーは、自宅に訪問してくれる介護、看護、リハビリや通所サービスを

組み合わせながら、在宅で過ごしていただけるよう支援いたします。当然私たちはご本人の自己決定を支援し、それに合うサービスを提供できるような心がけています。

しかし、介護は利用者さんご本人だけでなく、同居あるいは通いで介護をするご家族の方にも大きく関わることです。ご家族がどこまで介入できるかで利用する介護サービスの内容や回数は変わるので、ご家族との対話も大切にしています。在宅で介護するうえでどんな危険性があるか、それをご家族だけで防げるのか、介護サービスを利用することで解決できるのか、暮らして即したかたちでどういった介護ができるかをお話しする必要があります。またどこまでお金をかけられるかも大きな要素です。介護保険のサービスだけでは間に合わないのであれば、自費サービスを利用するという選択肢もあります。逆、逆に費用をかけられないのであれば在宅ではなく施設に入居した方がいい可能性もあります。もちろんご本人の意思も踏まえながら、ご家族がどれだけ介護に携われるかと予算に応じて検討し、介護と生活を両立できるかたちを模索することが大切です。

私たちの役割

私たちが多根総合病院居宅介護支援事業所の依頼先の多くは、多根総合病院や多根脳神経リハビリテーション病院の患者さんです。患者さんの多くは急な病気により、体が不自由になり大

具体例

相談例

ご本人が買い物に行きたいけど行けずに困っている相談がありました。

そこで、買い物に行けない主な要因を探ります。

考えられる要因例

- ・整形疾患による足の痛みで長距離を歩くことが困難
- ・運動不足による下肢筋力の低下
- ・買い物施設が近くにない。自転車や車などの人通りが多い
- ・脳血管疾患があり、高次脳機能障がいがある
- ・支援してくれる家族がいない。いても高齢などで支援できない
- ・認知症などによる認知機能低下により行けない
- ・家の環境(階段がある。上がり框の段差がある)

もし、変形性膝関節症や脊柱管狭窄症などで歩けない場合

- ・環境で歩ける距離にスパーなどがあれば、歩行器等をレンタル
- ・歩行器が困難であれば、電動車椅子の利用を検討
- ・住環境に問題があれば、手すりの設置など
- ・認知機能の低下で電動車椅子利用が困難だが介助できるご家族がいれば車椅子利用
- ・介助できるご家族がいない場合は、訪問介護(ヘルパー)＋車椅子の検討

また、疾患などが原因で買い物に行くことが困難な場合は訪問介護員だけで買い物に行ってもいいこともできます。要支援の方は訪問介護員同行で買い物に行くことはできません。さらに介護保険は基本自立支援の考えがありますので、歩ける距離を伸ばしたり、状態を維持するために機能訓練デイサービスなどの利用も検討します。

※このように歩けない原因(医療的な側面)や家族等の支援の有無、歩ける距離、お住まいの環境、買い物施設は近くにあるかなどの要因を総合的に判断してサービスを決定していきます。

脳血管内治療科では主に脳卒中を扱い、その名の通り細い管を通して血管の内側からアプローチするカテーテル治療をメインとしています。当院では以前から脳神経外科・脳神経内科ともにカテーテル治療を実施していますが、脳血管内治療科としてカテーテル治療を専門とする両科の医師が一つにまとまることで、以前よりもさらに活発に意見を交換しあえる環境となり、よりよい治療を多くの患者さんに提供できる体制を築けるものと期待しています。現在は毎週金曜日午後に来来枠を設けていますが、患者さんが増えるにともない、枠数の増加も視野に入れています。

主に脳卒中に対する治療を行っておりますが、脳血管だけでなく、血の塊やコレステロールの塊が詰まって細くなってしまう頸動脈へアプローチし、脳卒中を予防する治療も手がけています。以前は全身麻酔をかけ、血流を止め、たうで頸動脈にメスを入れ、血管の内側に詰まったプラーク(厚くなった血管内膜)を切除するという大がかりな外科手術を行っていましたが、しかしカテーテル治療であれば、カテーテルの入り口となる足の付け根を部分麻酔し、プラークがある部分にステント(筒状の金属)を置いて押し広げることによって血液が通るべき道を確保するという、体の負担の少ない治療が可能です。中にはカテーテルではなく外科的処置の方が向いている症例もあるため、同じ診療科内で脳神経外科医の意見も踏まえ適切な処置を検討できるのも私たちの強みです。

また、脂質異常症、高血圧、糖尿病の方は頸動脈が狭窄しやすい傾向にあるため、管理栄養士などと連携して脳卒中の予防に取り組んだり内服薬を調整していますが、それだけ手を尽くしても血管が細くなったり、脳卒中になつてしまう方もおられます。そういった患者さんを地域の診療所と連携していち早くピックアップし、早期に処置できるよう手を広げていければと思います。

当院ですでに脳卒中の患者さんを24時間365日受け入れ可能な一次脳卒中センターを開設しています。しかし現状に留まらず、より高度な治療を提供する「包括的脳卒中センター」に認定されるべく、体制の強化に努めているところです。脳血管内治療科の創設もその過程の一つで、包括的脳卒中センター認定の要件である脳血管内治療専門医と血栓回収療法実施医の養成と確保をめざしたものです。脳卒中センターでの実績を背景に、カテーテル治療に特化した専門性の高い診療科を設け、ここでの実績も加えてより高度かつ包括的な脳卒中治療の提供をめざします。

当院の周辺地域では脳神経内科を有する病院が少なく、さらにカテーテル治療を扱っている施設となると非常に数が限られてきます。そうした状況の中、当院にカテーテル治療を専



今後求められる包括的な脳卒中医療を見据え 脳血管内治療に特化した診療科を創設し、 地域に貢献

脳卒中センターを有し地域の脳卒中医療に貢献する多根総合病院に、脳神経内科と脳神経外科の医師が協同する新たな診療科「脳血管内治療科」が誕生しました。カテーテルを用いた血管内の治療を行う同科の取り組みについて、脳血管内治療専門医である吉田智子先生にお話をうかがいました。



2022年7月治療スタート! 脳血管内治療科

脳血管内治療科・脳神経外科
医長

西居 純平

Junpei Nishii

日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脳神経血管内治療学会認定
脳血管内治療専門医

脳血管内治療科・脳神経内科
副部長

吉田 智子

Tomoko Yoshida

日本神経学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本内科学会認定内科医
日本脳神経血管内治療学会認定
脳血管内治療専門医

脳血管内治療科・脳神経内科

小玉 大地

Daichi Kodama

日本内科学会認定 内科専門医

門とする脳血管内治療科を設けたこと、そして包括的脳卒中センターの認定をめざすことは、地域の脳卒中医療において意義のあることだと思います。地域医療に貢献できるよう、さらなる目標をもって治療に取り組んでまいりますので、安心して当院でカテーテル治療を受けていただきたいと思います。

連携クリニック

連携クリニックとは

病院とクリニックとが互いに緊密に手を取り合い、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指すためのネットワークです。当院でも安心して治療を受けていただけるよう地域のクリニックにご登録いただいております。

医療法人 田辺耳鼻咽喉科医院

【診療科目】耳鼻咽喉科、小児耳鼻咽喉科、アレルギー科

<https://tanabe-jibika.net/>

Osaka Metro長堀鶴見緑地線・JR大阪環状線「大正駅」からすぐのところにある田辺耳鼻咽喉科医院。成人の方ももちろん、赤ちゃんや子供さんも診察してくれる心強いクリニックです。

—とてもきれいなクリニックですね。

2008(平成20)年、院長を継承し、昨年5月に移転開院いたしました。ご高齢やお身体の不自由な方、お子様連れの方にも安心して来院いただけるようバリアフリー設計とし、トイレもゆったりとしたスペースを取りました。また、空調・換気機能を強化するなど感染症対策も行っていきます。さらにクリニックでは珍しく各種キャッシュレス決済にも対応しています。

—田邊院長の専門分野を教えてください。

耳鼻咽喉科全般です。特に甲状腺疾患専門病院である野口病院(大分県別府市)での研修経験を経て、地域の基幹病院である奈良県立奈良病院(現:奈良県総合医療センター)や日本生命病院では、頭頸部外科領域を中心に鼻・副鼻腔の手術などを担当していました。また、難聴やめまいの急性期の外来・入院症例も数多く経験しています。

—メッセージをお願いします。

耳鼻咽喉科専門医として「正確な診断」「丁寧な説明」「的確な治療」のご提供に努め、かかりつけ医として何でも相談できる明るく優しい医療が目標です。気になる症状がありましたら何なりとお聞かせください。

院長 **田邊 修一**
 趣味/園芸、ゴルフ
 〒551-0001
 大阪市大正区三軒家西1-16-2
 TEL:06-6551-1901



医療法人
田辺耳鼻咽喉科医院




医療法人亮友会 なかむら皮膚科

【診療科目】皮膚科、小児皮膚科、アレルギー科

<https://nakamuraderma.jp/>

2007(平成19)年に開院し、今年15年を迎えたなかむら皮膚科。小児皮膚科も掲げ、赤ちゃんからご年配の方まで、年齢・性別問わず診療されています。

—中村敏明院長は、アメリカのマイアミ大学やハーバード大学の研究員経験を含め皮膚科一筋ですね。

そうです。大学の医学部を卒業してから約30年間皮膚科に携わっています。大阪大学医学部附属病院や総合病院などでの診療経験を踏まえ、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、日本アレルギー学会認定アレルギー専門医として最新の知識を取り入れた診療を行っています。

—医療機器が充実していますね。

紫外線療法の「全身型ナローバンドUVB/UVA」治療器や「エキシマランプ」は、アトピー性皮膚炎や乾癬、円形脱毛症などの治療に使用いたします。また、皮膚がんの早期発見の診断に使用する「ダーモスコピー」、その他各種レーザー治療器など最新の設備を揃えています。

—メッセージをお願いいたします。

当院は生物学的製剤使用承認施設に認定されており、アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬に対して、最新の治療である生物学的製剤での治療が可能です(使用には一定条件あり)。気になることがありましたら何なりとご相談ください。

院長 **中村 敏明**
 趣味/クラシックカメラ収集
 〒550-0005
 大阪市西区西本町3-1-1
 医療センター岡崎橋6F
 TEL:06-6537-5232



医療法人亮友会
なかむら皮膚科




From 高精度放射線治療センター

患者さん主体の放射線治療看護 ～がん放射線療法看護外来について～



がん放射線療法看護特定認定看護師
島田 千暁

放射線治療を受ける患者さんへの 看護師の役割

がん治療の3本柱の一つである放射線治療の特徴は、①手術と異なり体への負担が少ないこと、②治療による痛みがないこと、③外来通院での治療が可能なことなどから、高齢者や合併症のある患者さんでも治療適応となります。当院では、看護師による日々の体調確認やがん放射線療法看護特定認定看護師による定期的な面談を通して、患者さんの日常生活上の問題や副作用の早期発見ができるようサポートしています。

がん放射線療法看護外来について

看護外来では、主に治療中に副作用が出た患者さんに対して、副作用が治るまで継続的にサポートしています。また、治療終了後の日常生活指導をはじめ、

治療終了後に出た副作用に対しても長期的にサポートを行っています(表1)。例えば、食道がんや前立腺がんが放射線治療中の副作用により治療中断のリスクがある患者さんに対して、治療が無事に終了できるようなサポートを行っています。看護外来は、平日に外来枠を設けており、いつでも患者さんやそのご家族が気軽に相談できる場としてご活用いただいています。



(表1) がん放射線療法看護外来

担当	がん放射線療法看護特定認定看護師
日時	月曜日～金曜日(10:00～15:00)
対象	当院で放射線治療終了後、放射線腫瘍医と認定看護師が継続的にフォローが必要と判断した患者さんとそのご家族
目的	<ul style="list-style-type: none"> 治療終了後、治療中に出た副作用が治るまでの継続的なサポート 治療終了後、在宅において問題のある患者さんへの日常生活指導 治療終了後に出た副作用に対する長期的なサポート



今回は、多根クリニックで行っている企業健診についてご紹介いたします。



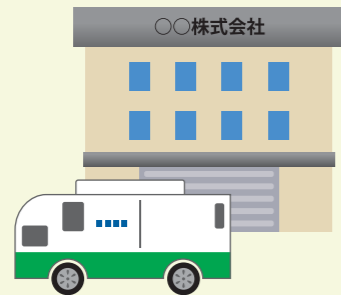
多根クリニックは、地域や企業の皆さんのニーズ・ご要望に素早く対応できるように健診コースを多数ご用意しています。また多根総合病院・多根記念眼科病院とも連携し安心のバックアップ体制で皆さんの健康をお守りします。

今号では、企業の皆さんの【企業健診】についてご紹介いたします。



【企業健診】

施設健診でももちろん対応可能ですが、従業員数などに応じて工場やオフィスなど職場に向き、短時間で効率的に検査を行う「巡回健診」も実施しており、大変好評をいただいています。また、健診後のアフターフォローも多根総合病院を含む「ぎつこう会ヘルスケアシステム(KHS)」でワンストップで対応していますので非常に安心です。企業や業種ごとで要望は異なるかと思いますが、多根クリニックでは、ご要望に適切に対応し、ご提案も可能です。是非、一度お気軽にお問い合わせください。



ご相談・お見積りは無料ですのでお気軽にお問い合わせください。

【健康診断の種類】

1. 一般健康診断
 - ・雇入時の健康診断
 - ・定期健康診断
 - ・特定業務従事者の健康診断 など
2. 特殊健康診断
 - ・じん肺健康診断
 - ・石綿健康診断
 - ・有機溶剤健康診断
 - ・特定化学物質健康診断 など
3. 行政指導による主な健康診断
 - ・騒音健康診断 など
4. 特定健康診査(特定健診)
 - ・特定保健指導
5. 生活習慣病健康診断
6. 協会けんぽ一般健診
7. その他各種健康診断



詳しくは
右記まで

社会医療法人ぎつこう会 **多根クリニック**

お問い合わせ先

TEL:06-6577-1881

FAX:06-6577-1771

日本人間ドック学会・健康施設機能評価認定

日本総合健診医学会 優良施設認定・日本脳ドック学会 認定施設

大阪市港区弁天1丁目2番 2-600号 大阪ペイタワー ペイタワーイースト6階

担当 下菌・山口

Mail: info@taneclinic.or.jp



多根記念眼科病院

早期発見が
大切!!

緑内障

緑内障は、房水(眼の中の水)の流れが悪くなることで眼圧が上昇し、視神経が圧迫されて傷むことにより視野が欠けてくる疾患です。一度欠けた視野は元には戻らず、日本における失明原因の第1位となっています。

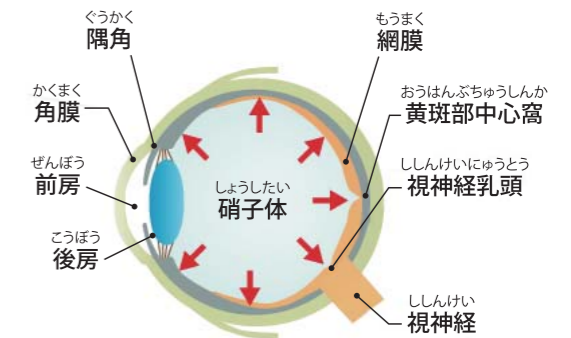
緑内障は、眼疾患の中で実はかなりポピュラーな疾患です。中高年に多い疾患で、一般に40歳以上では5%、つまり20人に1人が罹患していることになります。

対策としては、早期に発見して治療を開始し、眼圧を管理していくことですが、この緑内障の怖いところは、初期には自覚症状がないということです。視野が欠けていることに自分自身で気がついたときにはすでに疾患がかなり進行しています。また、両眼で外界を見ていると視野の欠損を反対側の眼が補ってしまうことがあるので、必ず片眼ずつで見え方を確認しておく必要があります。

では、早期に緑内障を発見するにはどうしたら良いでしょうか。ひとつは眼底検査です。視神経乳頭という部分を撮影して、その中央部の窪みの大きさ、深さから緑内障の兆候を判定します。ちなみに人間ドックで眼底写真を撮って見つかった所見のうち4割以上が視神経乳頭の陥凹というデータもあります。

もうひとつはOCTと呼ばれる器械による検査です。OCTは網膜の断層像を撮影できる器械で、網膜の神

眼の構造



経線維層や黄斑部の網膜内層の厚みを計測することで、まだ視野障害の出現していない段階で緑内障を発見できます。ただし、OCTは高価な機器なので検診や人間ドックで利用できる場所はまだまだ少ないです。

緑内障は早期に治療を開始することで進行を遅らせることができます。40歳を過ぎたら自覚症状がなくても一度眼科検診か、眼科検査の組み込まれている検診を受けることをおすすめします。

多根クリニックでは、人間ドックのオプションとして「アイドック」を開設しています。眼底撮影やOCTによる撮影を組み込んだメニューを用意しておりますので、興味をお持ちの方は一度多根クリニックにお問い合わせください。

← アイドックについてのお問い合わせは多根クリニックへ

居宅介護支援事業所より

あんしんさぼーと事業(日常生活自立支援事業)

多根総合病院居宅介護支援事業所 所長 日當 福太郎

大阪市は全国平均と比べて独居高齢者や高齢夫婦の世帯が多く、当事業所の利用者さんも独居の方や高齢夫婦のみの世帯が非常に多くいらっしゃいます。独居高齢者の中には認知症などで認知機能が低下されており、かつ身寄りがいないケースも少なくありません。このようなケースで支援者を悩ますのが、金銭管理ができないことから発生する下記のような事案です。

- 年金などを支給と同時にすぐ使いきってしまう
(例:食べきれない量の食材を購入する、飲酒やギャンブルなどに使ってしまう、他者にお金をあげる)
- 家賃や光熱水費を滞納する
- 医療費や介護サービス費用の滞納
- 現金・通帳・印鑑等を紛失する

左記のようなことになると、日常生活に支障をきたすので、金銭管理をだれかが行うことになります。ご家族がいらっしゃる場合はその役割を担っていただきますが、いない場合は「あんしんさぼーと事業」をご利用いただけます。今回はあんしんさぼーと事業についてご説明いたします。

あんしんさぼーとの対象者

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分であり、かつ制度の趣旨を理解し納得し契約できる方。

あんしんさぼーとの費用

- 訪問に関わる費用 1回900円
- 通帳などの預かりサービス 1ヶ月250円
- *低所得者の方には減額・免除制度あり

あんしんさぼーと事業でしてくれること

- 通帳や印鑑を預かり、金融機関からお金をおろしてくれる。
→紛失を予防することができる。
- 本人に必要な生活費を訪問して渡してくれる。
→使いすぎで生活に困ることを予防できる。渡すお金は本人の年金額や支出額などを勘案して、ご利用者さんと相談して決める。
- 家賃や光熱水費などの費用を利用者の代わりに支払ってくれる。
→未納によるトラブルを予防できる。

あんしんさぼーとが利用できない場合は、成年後見制度や民間の金銭管理サービスを利用していただくことになります。それでもあんしんさぼーと事業が金銭管理サービスの第1選択肢です。もしご自身や身内の金銭管理で困ることがあれば担当のケアマネジャーに、ケアマネジャーがいない方は当事業所までご相談ください。

あんしんさぼーと事業ではできないこと

- 施設入所時の一時金など、日常生活費を超えるお支払い
- 契約代行

あんしんさぼーと事業を利用することで、支援者さんにとってはお金に関するトラブルを予防することができ、ご利用者さんもお金のトラブルを回避し生活することができるので、金銭管理が難しくなったご利用者さんに対してご利用いただきたいサービスです。しかしあんしんさぼーとの導入は容易ではありません。

それは、対象者さんが記載した制度を理解した上で契約することです。特に面識のない人に通帳や印鑑を預けるのはハードルが高く、あんしんさぼーとのスタッフも契約後のトラブルを予防するために、ご本人さんのお宅を訪問し面談を3回行い、制度を理解し契約の意思があるかの確認を行います。その中でご本人が納得できないと言えどご利用できません。すなわち1回目や2回目で納得していても3回目で納得できなければ、利用はできないということです。そのため、ケアマネジャーは必ず面談に同席するようにしていますが、それでも3回連続で制度を理解して納得していただくのは、ケアマネジャーの経験上難しいと感じます。

あんしんさぼーとのデメリット

- 認知症などで判断能力の低下はみられるが、制度を理解し契約までいくのはハードルが高い。
- 利用に至るまで時間がかかる。

お問い合わせ先 多根総合病院 居宅介護支援事業所 Tel. 06-6536-8803 担当:日當



vol.20 「より良い介護を目指して」

認知症の人と共に暮らせるまちを目指して

中央区認知症初期集中支援チーム 管理者 辻井 友佳

大阪市では、各区1か所の地域包括支援センターが、認知症初期集中支援推進事業を運営しています。中央区では2017(平成29)年1月から社会福祉法人亀望会が事業を受託し、チームの活動を開始しています。

「認知症初期集中支援推進事業」とは、国の進める『新オレンジプラン』に基づき、「認知症の方の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現」を目指し推進しているものです。この事業の中には、「認知症初期集中支援チーム」と「認知症地域支援推進員」の活動が含まれています。

「認知症初期集中支援チーム」では、適切な医療や介護サービス等に結びついていない認知症の方またはその疑いがある方やそのご家族に、訪問や来所でかわりを持ち、住み慣れた地域での生活へ向けたサポートを約6ヶ月の間、集中的に行います。支援終了時には必要な支援機関につなぎ、この『つなぐこと』がチームの大きな役割となっています。

「認知症地域支援推進員」は、認知症の方やその家族、支援機関に対しての専門的アドバイスを行うとともに、地域包括ケアシステムを推進する多職種・多機関と連携を図り、地域資源の構築や認知症対応力の向上を進めて

います。また、若年性認知症の方の支援も行っています。

中央区の認知症初期集中支援チーム(愛称:中央区オレンジチーム)は事業を開始し5年目を迎えています。中央区は区内の中でも地域特性が大きく異なる地域です。難波周辺の繁華街、北浜周辺のオフィス街、玉造や空堀などの商店街が残る街並みなど多岐にわたります。それに伴い必要な社会資源等も変わっています。地域の実情に合わせ、住民と共に地域づくりに取り組んでいます。

チームでは様々な事例やデータの分析を行い、ご家族の介護負担の軽減も一つの課題であることが分かってきました。それに対し「認知症の人を介護する家族の語りの会」を一昨年度から定期開催しています。同じ悩みを抱える方同士で語り合うことで、すぐには解決できない悩みでも共感してもらえることで、ずっと気持ちが楽になることもあります。認知症とご家族の介護負担は切っても切り離せないものだと思います。少しでもそんなご家族の支援ができれば、ずっと住んでいたい、住みやすいまちに一步近づくのではないかと感じています。小さな力ではありますが、そんな地域づくりの一端を担えるようにチーム、推進員の活動を推進していきたいと思っています。



啓発グッズ



認知症の人を介護する家族の語りの会



オレンジチーム スタッフ

中央区オレンジチーム

〒540-0011 大阪市中央区農人橋3丁目1番3号 ドミール堺筋本町1F TEL 06-6948-6639

地域とともに

社会医療法人きつこう会では、毎月末の金曜日の朝に、医療スタッフや事務職員等で地域清掃ボランティアを行っています。

私たちが根ざす地域を少しでもきれいにしたい、心地よく働ける環境づくりを行いたいとの思いで活動しています。8月26日は72名、9月30日は93名、10月28日は91名の参加がありました。もし見かけましたら、お声がけいただけると嬉しいです！



清掃範囲

境川周辺 多根総合病院、多根訪問看護ステーション、多根総合病院居宅介護支援事業所、多根記念眼科病院、多根脳神経リハビリテーション病院

弁天町周辺 多根クリニック

天保山周辺 多根第二病院、多根介護老人保健施設てんぼーざん、てんぼーざん居宅介護支援事業所



天保山周辺チーム



境川周辺チーム



弁天町周辺チーム



歩道だけでなく植え込みの中のゴミも集めています

HAPPY RECIPE

ハッピーレシピ

今回のレシピ 鮭のクリームパスタ

医療技術部 栄養管理部門 管理栄養士
足立 彩音



●材料(2人分)

カロリー:600kcal タンパク質:26g 食塩:3.3g

パスタ…200g 生鮭…1切(骨なし)
玉ねぎ…1/2個 ぶなしめじ…1/2パック
ほうれん草…20g
ホワイトソース(市販のもの)…160g
バター…20g 牛乳…40g 固形コンソメ…1/2個
塩…小さじ1/2杯 こしょう…適量(お好みで)

〈下準備〉

- ・鮭は一口大に切る。
- ・玉ねぎは薄くスライスする。
- ・ぶなしめじは小房に分ける。
- ・ほうれん草は5cm幅に切る。
- ・パスタは時間通りに茹でしておく。

●作り方

- ①フライパンにバター、鮭、玉ねぎ、しめじを入れ、蓋をして弱火で蒸し焼きにする(玉ねぎやしめじから水分が出るためかき混ぜなくて良い)。玉ねぎがしんなりしたら、鮭のみフライパンから取り出す。
- ②①にホワイトソース、牛乳、塩、コンソメを入れ、かき混ぜながら弱火で加熱し、クリームソースを作る。
- ③②にほうれん草を入れ、しんなりすれば別茹でしたパスタも入れ、クリームソースとよく絡める。
- ④最後に鮭を入れ軽く混ぜる。皿に盛りつけ、お好みでこしょうを振りかければ完成。

家庭で魚料理といえば、焼き魚や煮魚、フライ等に偏りがちで料理のレパートリーが少ない、前処理や後片付けが面倒といった理由で、敬遠される方が多いのではないのでしょうか。そこで、今回は鮭の切り身を使って簡単にできるクリームパスタのレシピをご紹介します。

鮭には、動脈硬化予防やコレステロール低下作用などがあるEPA(エイコサペンタエン酸)が約360mg、DHA(ドコサヘキサエン酸)が約730mg(いずれも鮭100gにつき)と多く含まれています。EPAやDHAは体内で合成できないため、食事から摂ることが必要です。また、動脈硬化の予防や疲労回復、眼精疲労の改善などに効果があるアスタキサンチンも含まれています。EPAやDHA、アスタキサンチンは調理過程で少しずつ魚から流れ出てしまいますが、クリームパスタにすることで、鮭から流れ出た栄養成分もソースに含まれるので、効率よく摂ることができます。鮭は加熱しすぎると、パサついたり身が崩れやすくなったりするため、いったんフライパンから取り出して、最後に少し温める程度にフライパンに戻すのがポイントです。ホワイトソースも一から作るとうと手間がかかりますが、市販のものを使うことで簡単にできるので、ぜひ試してみてください。

今号の表紙について

Q. 今回のイラストのテーマは？

A. 今回は「入院から退院まで」をテーマにしています。患者さんが病院に来て、より良い状態になって帰られていく場面。先生たちに感謝して退院できたことを喜んでいる様子を描きました。

Q. テーマをどのようなイラストで表現されましたか？

A. 病院をクリスマスリース風の観覧車で表現しました。リースには永遠、豊穡、魔除けなど良い意味があります。リース観覧車が一周する間に、健康という最高のプレゼントをもらって降りてくる場面です。全体が遊園地風なので後ろのドームではサンタたちがコースターに乗っています。

Q. メッセージをお願いします。

A. 入院した大切な人に気軽に会いに行きにくい状況が続いていると思います。でもその期間が終われば、より元気になってまた嬉しい再会がある、ということを感じたいものです。

Profile

おだ こうへい



大阪芸術大学デザイン学科卒業後、同大学図書館で勤務し、その後フリーのイラストレーターに。挿絵、CDジャケット、看板、パンフレット、お祝いイラスト等を手がけつつ、絵本や童話的なイラストを描いています。最近では果物や野菜、お菓子をモチーフに木や森を表現した作品を制作中。

ホームページ 「キトヒトの森」
<http://kitohito.com/>



大阪市 西区・港区・大正区

きつこう会ヘルスケアシステム施設

近隣主要病院・連携医療機関

MAP & 一覧



社会医療法人 きつこう会

理念

愛を原理とし、秩序を基礎とし、進歩を目的とす

方針

質の高い全人的な医療・介護・予防をシームレスに展開し、皆様に愛され信頼される存在となります

行動規範

私たちは感性を磨き、自らを高めています
私たちは一人一人の人格を尊重し幸せな暮らしを支えます
私たちは明るい健全な運営を行い社会へ貢献します

行動指針

自己研鑽 ~ Self Improvement ~ 常に自己を振り返り、自己研鑽に努めます
顧客中心志向 ~ Customer Engagement ~ あらゆる顧客と愛着ある深い絆を築きます
プロ意識 ~ Pride of a Professional ~ 自分たちの仕事に責任と誇りをもって取り組みます
共働・協調 ~ Teamwork ~ チームの一員であることを意識した行動の実践に努めます
意識改革 ~ Motivation & Challenge ~ 変わることを恐れず、新しいことへの挑戦を行います

きつこう会ヘルスケアシステム施設

- 多根記念眼科病院**
〒550-0024 大阪市西区境川 1-1-39 TEL.06-6581-5800
- 多根第二病院**
〒552-0021 大阪市港区築港 3-4-25 TEL.06-6599-1212
- 多根クリニック**
〒552-0007 大阪市港区弁天 1-2 大阪ベイトタワー ベイトタワーイースト6階
TEL.06-6577-1881
- 多根総合病院 居宅介護支援事業所**
〒550-0025 大阪市西区九条南 1-12-21 TEL.06-6536-8803
- ケアハウス コスモスガーデン**
〒550-0004 大阪市西区靫本町 3-6-18 TEL.06-6459-3221
- 多根脳神経リハビリテーション病院**
〒552-0011 大阪市港区南市岡 1-1-45 TEL.06-6585-2743
- 多根介護老人保健施設 てんぼーざん**
〒552-0021 大阪市港区築港 3-4-25 TEL.06-6599-1616
- きつこう会 多根訪問看護ステーション**
〒550-0025 大阪市西区九条南 1-12-21 TEL.06-6581-1651
- 特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑**
〒550-0006 大阪市西区江之子島 1-8-44 TEL.06-6225-2662
- コスモスのかぜ九条南**
〒550-0025 大阪市西区九条南 2-21-2-1階 TEL.06-6586-5572

編集後記



今年は秋冬が足早にやってきた印象です。1日の寒暖差が10°C近くある日も珍しくなく、体調を崩されている方も少なくないのではないのでしょうか。さて、今回の特集は居宅介護支援事業所。若い方々にはとくに聞き覚えのない名前かと思いますが、患者さんと介護に関する医療サービスをつないでくれる部門です。今回の特集を読んでわからないことがあれば、ぜひ遠慮なくケアマネジャーにご相談ください。不安のある患者さんやご家族を、様々な支援で支えています。
きつこう会本部 総務部

『VOICE』発行元 / 多根総合病院 2022年12月1日発行
※取材時はマスク着用で行い、撮影時のみ外しています。

多根総合病院

〒550-0025 大阪市西区九条南1-12-21
Tel.06-6581-1071 Fax.06-6581-2520
[診療時間] 平日 9:00~17:00
土曜日 9:00~12:30

